

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
レディスプレリユード	2018/10/11	JpnII	大井	1800m	ミドルペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ワンミリオンズ	牝5	56	福永	ゴールドアリュール	サンデー系	Yankee Victor	ヘイロー系	B	A	A	B	A	A	○	
2	2	ニシノラビート	牝7	55	的場文	サウスヴィグラス	ミスプロ系	Dynaformer	ロベルト系	D	B	D	D	D	D		
3	3	エースウィズ	牝4	55	赤岡	キンシャサノキセキ	サンデー系	ダンスインザダーク	サンデー系	D	A	D	C	C	C		
	4	ディアマルコ	牝5	55	佐原	スパイクユール	サンデー系	ツルマルボーイ	サンデー系	D	B	D	D	D	D		
4	5	ジュエルクイーン	牝6	55	五十嵐	キンシャサノキセキ	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	B	C	B	C	C		
	6	アンジュデジール	牝4	56	横山典	ディーブインパクト	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△1	
5	7	アルティマウェポン	牝5	55	真島	ヨハネスブルグ	ノーザン系	アグネスタキオン	サンデー系	D	B	C	D	C	C		
	8	ステップオブダンス	牝4	55	森	ゴールドアリュール	サンデー系	ヘクタープロテクター	ミスプロ系	D	A	C	B	C	C		
6	9	プリンシアコメータ	牝5	55	モレイラ	スパイクユール	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	A	B	B	B	B	△2	
	10	ラインハート	牝7	55	笹川	ステイゴールド	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	B	B	C	C	C		
7	11	リエノテソーロ	牝4	55	吉田隼	Speightstown	ミスプロ系	Langfuhr	ノーザン系	B	B	C	B	B	B	△3	
	12	ブランシェクール	牝5	55	吉原	ダイワメジャー	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	C	A	B	B	B	A	▲	
8	13	ユッコ	牝6	55	高松	ハーツクライ	サンデー系	Saint Ballado	ヘイロー系	D	C	D	D	D	D		
	14	クイーンマンボ	牝4	56	ルメール	マンハッタンカフェ	サンデー系	シンボリクリスエス	ロベルト系	A	A	B	B	A	B	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ニシノ リエノ クイー ブラン ユッコ アルテ	(前略) 大井1800mは牝馬にとって非常にタフな舞台設定。直線は上りがかかっていたのバテ比べ、追い比べになることが多く、この舞台でこそ真価を発揮する馬がいるのだろう。今年は昨年の同レース勝ち馬クイーンマンボ、牝馬限定のダートグレード連勝中のアンジュデジール、モレイラ騎手騎乗のプリンシアコメータが人気の中心になりそう。17年レディスプレリユードのような大波乱はなくてもガチガチの決着にもまたならいのではないか。ここは買いたい馬が2頭いるのでまずはワイド1点で仕留めたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ミドルペース	本命は人気でも <b>クイーンマンボ</b> を信頼する。昨年のレディスプレリユードがただただ強い一言。同年のJBCレディスクラシックはザ石のため出走回避となったが、出走していれば、おそらく3連単100万馬券は出ておらず、本馬の独壇場になっていただろう。2走前の平安ステークスではJRAで牡馬相手に2着に好走。牝馬限定のダートグレードは一般的にJRAの1000万下勝ちレベルの実績があれば、通用してしまうので、平安ステークス2着は非常に価値が高い。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ワンミリオンズ	○	近走は4～6着をウロチョロとしているが、敗因が明確なレースばかり。2走前のアハレテステークスは展開、戦った相手を考えても評価できる5着だった。実績ある条件で巻き返す。		
2	2	ニシノラピート		ダートグレードは17年さきたま杯9着、18年マリーンカップ6着という成績。JRAのオープン馬相手ではさすがに力不足。1800mも長い。		
3	3	エースウィズ		キンシャサノキセキ産駒らしくレースセンスの高さがウリも、JRA勢相手ではさすがに分が悪い。距離も長い。		
	4	ディアマルコ		高知の現役最強牝馬も、ダートグレードでは苦戦続き。レディスプレリユードは3年連続の出走で、過去2回は16年10着、17年8着。今年も掲示板入りさえ難しいはず。		
4	5	ジュエルクイーン		門別の実績を考えれば、もっと走っても良さそうだが、ダートグレードでは結果が出ていない。レディスプレリユードは3年連続の出走で、過去2回は16年12着、17年6着。昨年は6着とはいえ完敗だった。恵まれても掲示板に入るかどうかだろう。		
	6	アンジュデジール	△1	今年に入って牝馬限定のダートグレードを連勝中。前走エルムステークスは休み明け、牡馬相手なので敗戦も仕方なし。叩き2戦目、牝馬限定のダートグレードなら巻き返してくるだろう。ただ本質的に小回りコースでこそこのタイプ。能力的には上位でもコース適性が微妙なので勝ち切るまではないか。		
5	7	アルティマウェボン		前走ブリーダーズゴールドカップでは地元馬最先着を果たすもJRA勢には完敗だった。ダートグレードでは荷が重い。		
	8	ステップオブダンス		近2走はディアマルコ、ジュエルクイーンに敗退。地の利があるとはいえ、ダートグレードで通用するレベルではないだろう。		
6	9	プリンシアコメータ	△2	同型ニシノラピートの存在が厄介。昨年のJBCレディスクラシック2着、クイーン賞1着を見ると、行き切ったほうがいいのは間違いない。ニシノラピートが的場文男騎手なので是非でもハナを主張するはずで、本馬は2、3番手からの競馬が濃厚。追い比べに合わせる形になってしまうかもしれない。		
	10	ラインハート		昨年のJBCレディスクラシックでお世話になったが、今振り返ると当時がピークの走り。近走は明らかパフォーマンスを落としている。コース替わりはプラスも今回のメンバーでは苦戦するのでは。		
7	11	リエノテソーロ	△3	前走スパーキングレディーカップでオウケンビリーヴ、ラビットランを下したのは評価できるものの、小回り適性の差で勝利した感じ。今回はスタミナ、末脚の持続力が求められる大井1800m。コース替わりがプラスになるとは思えず、期待よりも不安の方が大きい。		
	12	ブランシェクール	▲	JRA在籍時代には中山ダート2400mの成田特別で勝ち鞍があり、典型的なスタミナ型の差し馬。今年のTCCK女王盃2着を見ても、バテ比べ、追い比べになりやすい大井1800mはベスト条件といっている。近走のパフォーマンスは確かに物足りないが、馬体重が増え過ぎているのが一因といえそう。		
8	13	ユッコ		前走ビューチフルドリーマーカップではジュエルクイーン、ステップオブダンスに全くついていけない。ダートグレードでは回ってくるだけで終わるだろう。		
	14	クイーンマンボ	◎	昨年のレディスプレリユードがただただ強い一言。前走ブリーダーズゴールドカップはまさかの敗戦も単純にコースが合わなかったと見てよさそう。今回は実績のある大井コース。叩き2戦目、コース替わり、斤量減などプラスの要素が多く、さすがに巻き返してくるのではないか。		